

# 2010年3月期 決算説明会

あした  
先進技術で豊かな未来を——  
**ELECTRIC  
ELECTRONICS**  
TECHNOLOGY



株式会社 立花エレテック

2010年5月21日

TACHIBANA ELETECH

# 会社概要

<b>社名</b>	株式会社 立花エレクトック 証券コード 8159 (東証・大証第1部)		
<b>創業</b>	1921(大正10)年9月1日		
<b>代表者</b>	代表取締役社長 渡邊武雄	<b>発行済株式数</b>	21,381千株 (自己株式を含む)
<b>本社所在地</b>	大阪市西区西本町 1-13-25	<b>株主数</b>	3,171名
<b>資本金</b>	56億92百万円	<b>従業員数</b>	連結 1,015人 単独 784人
<b>連結売上高</b>	968億38百万円(10年3月期)		
<b>事業内容</b>	電機・電子の商品、システムを販売する技術商社		
<b>事業所</b>	支社:東京、名古屋 支店:11 営業所:5 物流センター:1		
<b>グループ企業</b>	連結子会社 : 国内 9社、海外6社(シンガポール、香港、台湾、上海、韓国、タイ)		

[2010年3月末現在]

# 事業ドメイン/事業内容

トータルソリューションを強化する  
立花エレテックのダイヤモンドドメイン



## ◆FAシステム事業

モーターや遮断機などの電気機器。インバータやPLC、サーボなどのFA機器。放電加工機やレーザー加工機などの産業機械。各産業の生産ラインの自動化・合理化システムの構築。

## ◆半導体デバイス事業

規格品からユーザー仕様までニーズに合わせた半導体製品や電子デバイス。さらにマイコン・ASICやカスタムLSIの設計開発。またEMSビジネスを展開。

## ◆情報通信事業

コンピュータ、通信、映像の3分野を主に情報ネットワークを形成するシステムや通信機器・映像機器・各種パソコン。またシステムインテグレーターとして最適なシステムを構築。

## ◆施設事業

工場やオフィスビル・店舗における照明・空調・エレベーターなどの昇降機、防災設備機器。また省エネに優れたオール電化製品を販売。

## ◆ソリューション事業

技術商社として培ってきた技術力を結集して工場などにおける省エネ・環境・安全・効率性といった要素を含めた複合的なシステム案件や環境エネルギー分野の需要開拓。

## ◆海外事業

アジアを中心にAV・IT関連の電子部品関連材料や各種金属加工品、防犯・防災機器の調達。

# 2010年3月期決算総括①



【当社】

売上**16.9%**の減少 ⇒ 相対的には健闘

★「CAPUP」による営業体質強化が貢献～「売る力」の強化

収益 損益分岐点の低下対策を徹底的に実施し利益確保

954億



859億

⇒ 販管費11億73百万削減

# 2010年3月期決算総括②

## 【業績の概況】

### ◆減収減益

設備投資の縮小から、主力のFAシステムは、FA製品全般 並びに 産業機械が受注減少。半導体デバイスは、エアコン向けのパワー素子や光通信用オプトエレクトロニクスが減少となったが、カーエレクトロニクスや家電製品などの民生分野向けのマイコンは前年並みを確保。

## 【連結業績ハイライト】

(単位:百万円)

主要科目	2009年3月期	2010年3月期	前年同期比
売上高	116,539	96,838	▲16.9%
売上総利益	14,626	11,887	▲18.7%
販管費	12,024	10,851	▲9.8%
営業利益	2,601	1,036	▲60.2%
経常利益	2,654	1,344	▲49.3%
当期純利益	1,396	815	▲41.6%

# 2010年3月期決算総括③

## 事業別 売上高(連結)

(単位:百万円)

事業分野	2009年3月期		2010年3月期		前年 同期比(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高
FAシステム	57,437	49.3	44,628	46.1	77.7
半導体デバイス	38,099	32.7	34,024	35.1	89.3
情報通信	5,189	4.4	4,404	4.6	84.9
施設	11,868	10.2	10,289	10.6	86.7
その他	3,944	3.4	3,491	3.6	88.5
合計	116,539	100.0	96,838	100.0	83.1

# 2010年3月期決算総括④

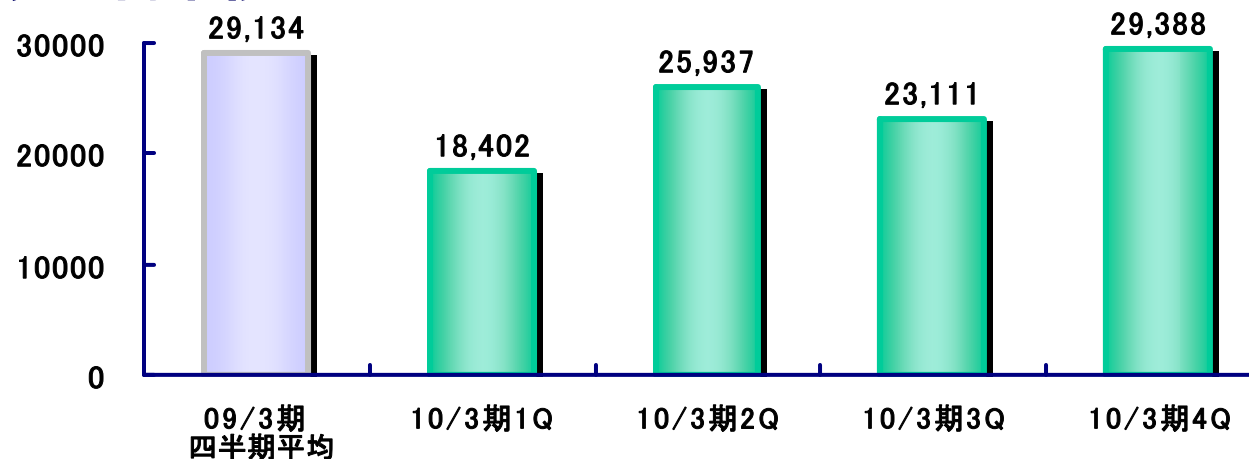
## 【四半期連結業績ハイライト】

下期四半期平均  
FA 11,969  
半デ 9,329

(単位:百万円)

主要科目	09/3月期 四半期平均	2010年3月期				Aと10/3月期 下期四半期 平均との比較
		1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	29,134	18,402	25,937	23,111	29,388	90.1%
FAシステム	14,359	7,903	12,787	9,827	14,111	83.5%
半導体デバイス	9,524	6,988	8,378	9,069	9,589	98.0%
経常利益	663	▲356	701	247	752	75.3%
四半期純利益	349	▲205	415	170	435	86.7%

## 四半期売上高推移

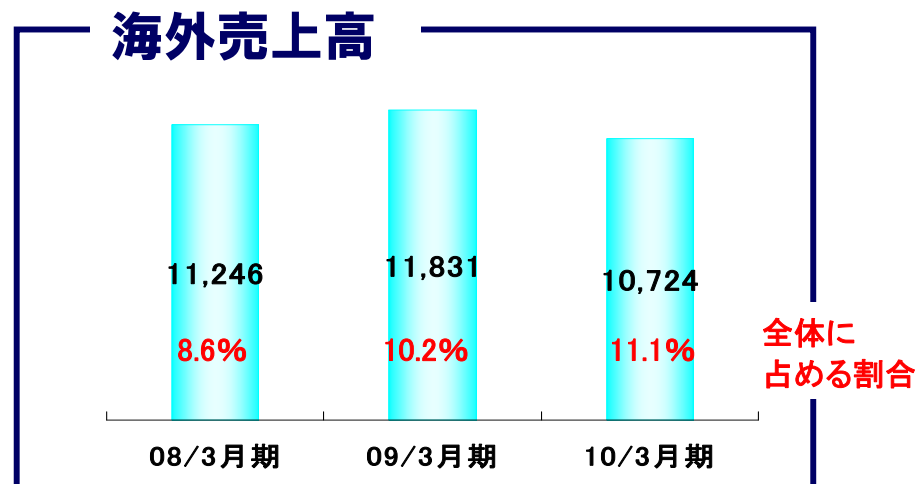


# 2010年3月期決算総括⑤

## 海外売上高推移

海外売上高107億円

\*連結売上高に占める割合11.1%

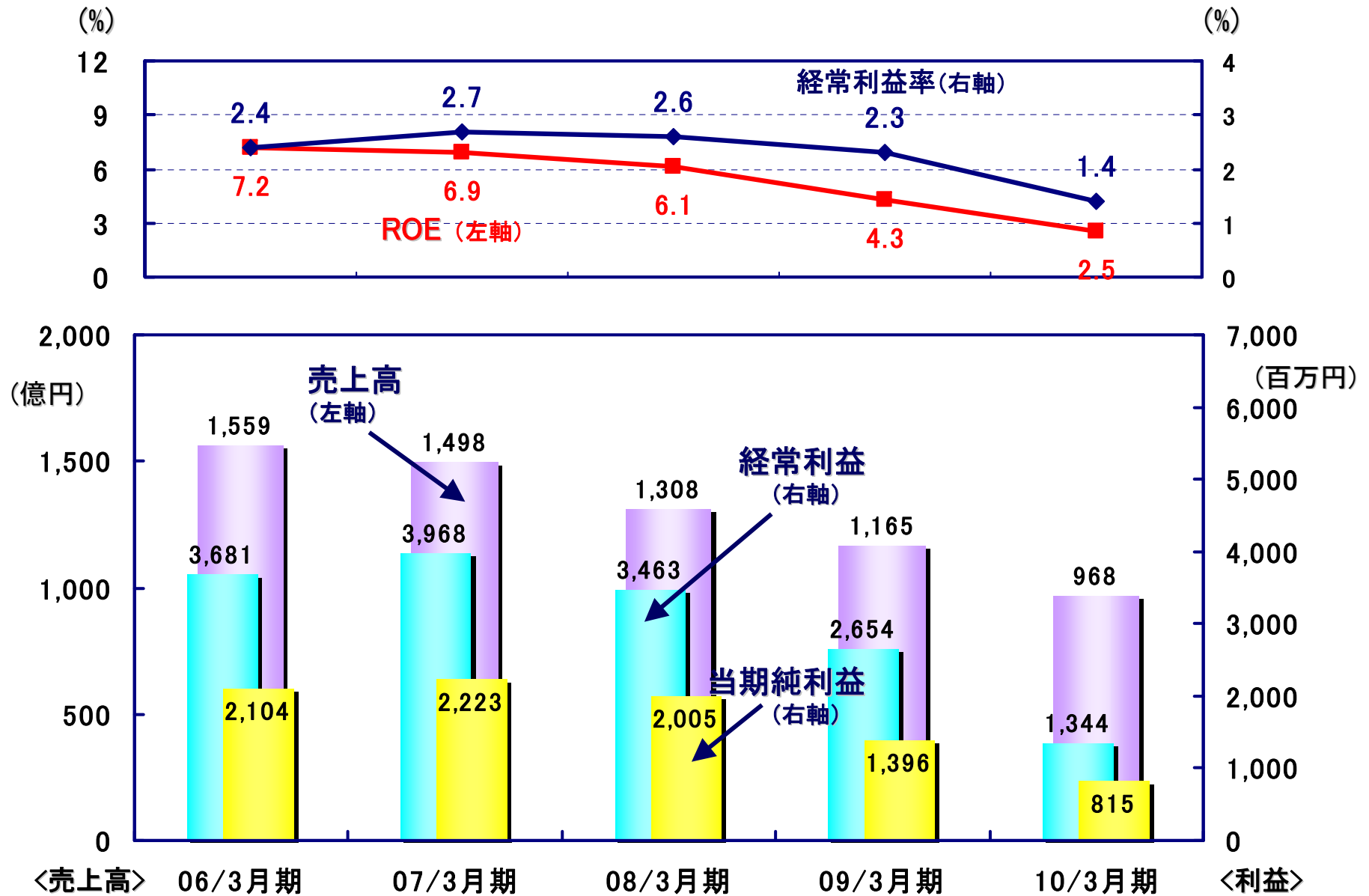


(単位:百万円)

地域	2009年3月期		2010年3月期		前年同期比(%)
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高
輸出	749	6.3	404	3.8	53.9
TOH	11,081	93.7	10,320	96.2	93.1
海外売上計	11,831	100.0	10,724	100.0	90.6

\* TOH : 「立花オーバーシーズホールディング社」

# 連結業績の推移



景況：2010年3月期(81期)並みもしくは若干の +  $\alpha$

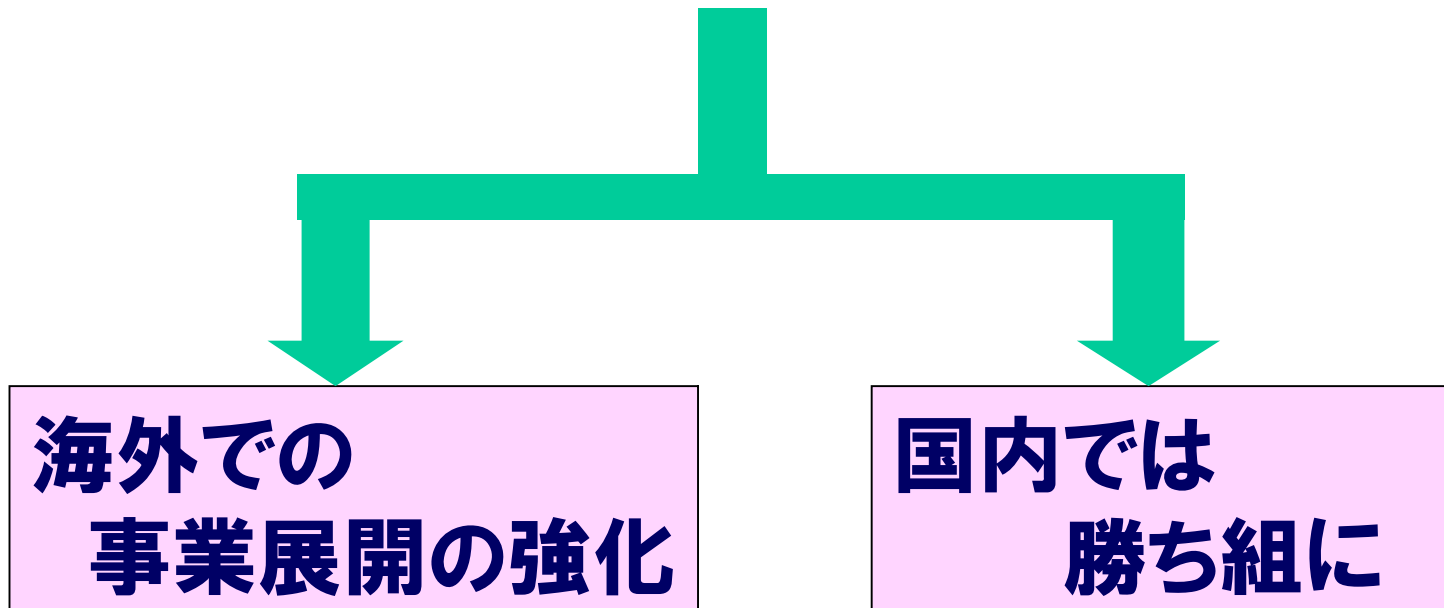
① 損益分岐点を割らない経営

② 経費は意図的にカット

- 交際費、交通費、広告宣伝費をはじめ徹底的に経費削減を実施
- 交際費の削減 80期の20%削減
- 物流費用の削減 80期の15%削減

③ 人員 新卒は確保・自然減対応

## 国内の経済規模はますます縮小傾向



## (1) 海外における積極的な事業展開

### ◆ 世界経済のボリュームゾーン（新興国）マーケットへの対応 ～ミドルスタンダード商品開発をターゲット～



## (2) 営業力の強化と体質改善の取り組み

商社の根幹を支えるのは質の高い人材！

➡ 質の高い人材の確保と育成に努める

「C.A.P. UP1500」プロジェクトの継続推進

「売る力」をつける

「マネジメント能力の向上」を通じて「業績UPに繋げる」  
全社員が実行力、実現力を高め、組織として最大の  
力を発揮することを目指す

「商社の価値」は「売る力」の高い会社

## (3) 付加価値(工事・サービス)とシステム販売への注力

### ◆ 工事・サービスができる技術商社を目指す

工事会社の再編による子会社：(株)立花宏和システムサービスの事業領域を広げ、グループとして質の高い工事・サービスを提供

### ◆ システム販売の強化

#### ・ソリューションビジネスの強化

「省エネ・環境・安全・効率性」の複合ニーズに対応

#### ・環境エネルギービジネスの推進

成長市場として期待されるクリーンエネルギー分野である

「太陽光発電」「風力発電」「燃料電池」の需要の開拓と導入支援

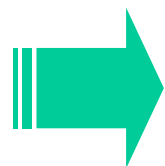


## (4) グループ経営によるシナジーの追求

### 連結シナジーの強化

国内9社及び海外6社の経営資源を効率的に相互に活用

特に本年4月に完全子会社化した「大電社」の大いなる活用



**グループとしてシナジー効果を追求**

# 2011年3月期(82期)業績計画

## 業績計画(連結)

昨年減収分(197億円)の  
85%(162億円)のカバーを目指す

(単位:百万円)

主要科目	2010年3月期	2011年3月期計画	前年比(%)
売上高	96,838	113,000	116.7
営業利益	1,036	1,200	115.8
経常利益	1,344	1,800	133.8
当期純利益	815	1,250	153.4
1株当たり年間配当金	18(円)	20(円)	—
1株当たり当期純利益	39.12(円)	60.15(円)	—

### 売上高の内

海外売上高	10,724 (11.1%)	13,000 (11.6%)	121.2
-------	----------------	----------------	-------

\* ( )は全体に占める割合

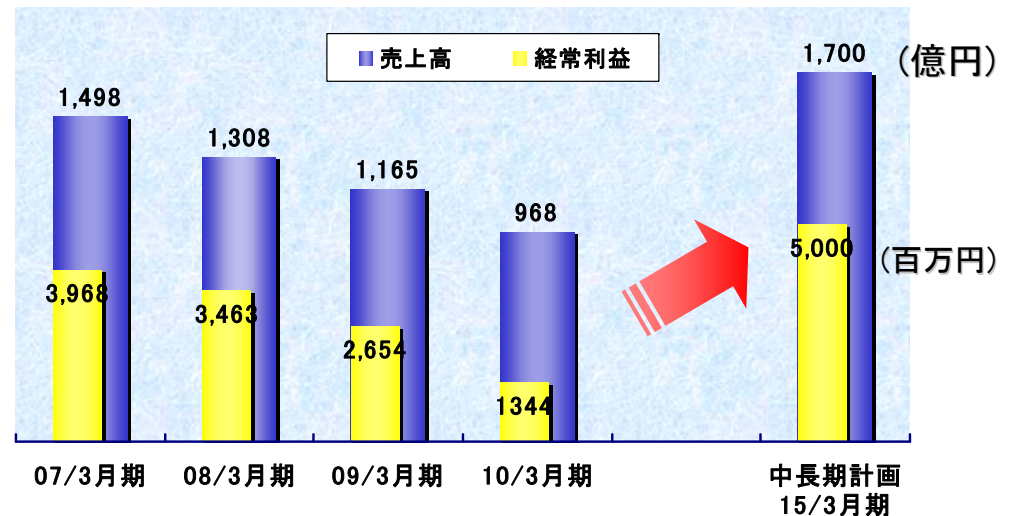
## 2015年3月期を見据えた中長期経営計画

### ◆ 経営目標数値（2015年3月期）

売上高 1,700億円

経常利益 50億円

海外比率 20%



### ◆ 基本方針

- ・中国を含むアジア市場におけるビジネスの拡充とローカル化の推進
- ・成長市場への参入と顧客ニーズに即したビジネス展開
- ・企業グループとしての総合力の発揮と事業領域の拡大
- ・「C.A.P.UP1500」プロジェクトの継続推進による販売力の強化

**ご清聴いただき、誠にありがとうございました。  
今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。**

**【お問い合わせ先】**

**株式会社立花エレテック 総務部 広報・株式課**

**Tel: (06)6539-2718 Fax: (06)6539-8821**

**<http://www.tachibana.co.jp/>**

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。